

【中学校 保健体育】

単元の指導計画における観点別評価(評定に用いる評価)の位置付け〈例〉

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①〇〇〇について運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【知技(体育分野)】 ・基本的な技能 技能 ・合理的な実践や運動を豊にする実践についての理解 知識</p>	<p>①〇〇〇について、自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p> <p>【思判表(体育分野)】 ・自己や仲間の課題発見、課題に応じた選択と工夫 思考・判断 ・言葉や文字等で表出 表現</p>	<p>①運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【主体態(体育分野)】 ・公正、協力、責任、参画、共生及び健康・安全の具体的な指導内容を踏まえて確認</p>
<p>②△△△における個人生活の健康・安全について、科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【知技(保健分野)】 ・基本的な技能 技能 ・健康・安全についての科学的な理解 知識</p>	<p>②△△△における個人生活の健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。</p> <p>【思判表(保健分野)】 ・課題発見、科学的な思考判断 思考・判断 ・言葉や文字等で表出 表現</p>	<p>②健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【主体態(保健分野)】 ・学習状況の確認 ・課題の追求</p>

【体育】単元の前半に、特性や技術的な知識等の学習機会を設け、練習する時間を設定し、その後適宜適切な形で技能を評価するように工夫する。

【保健】すべての時間に重点や記録に残す評価を入れるのではなく、学習のまとまりの学習内容と学習活動に対応させてバランス良く評価するように工夫する。技能は出来映えのみを評価するのではなく、知識と一体的に評価する。

【体育】知識や技能を活用して、課題発見、課題解決のための選択、仲間に伝え合う等の評価ができるように工夫する。

【保健】単元を通して課題の発見、改題解決、表現等の評価ができるように工夫する。

【体育】各項目をバランスよく評価する場面を設定するとともに、継続的に指導と評価ができるように工夫する。

【保健】性格や行動面の傾向を評価することでの留意し、自らの学習を調整しながら粘り強く取り組もうとしている意志的な側面を評価できるように工夫する。

はばたく群馬の指導プランⅡ 単元のつくり方

過程と基本的な学習活動	
つかかむ	<p>1 単元の課題をつかむ。</p> <p>◇試しの活動(記録の測定やゲーム等)や課題把握につながる身近な事象(生活)等を見直す。 ◇単元の課題を明確にする。</p> <p style="text-align: center;">単元の課題 ＜単元の目標を達成するための学習内容＞</p> <p>◇追究内容や方法、学習の計画を明確にする。</p>
追究する	<p>2 単元の課題の解決に向け、単位時間ごとに追究する。</p> <p>【単位時間】 ◇課題解決に必要な知識や基本的な技能を習得する。(活動1) ◇習得した知識や基本的な技能を活用して課題を解決する。(活動2) ※学習する領域や学習スタイル(個人・集団)にあった単元をつくるのが大切。 体育授業プログラム等資料参考 ※保健領域は、内容に応じて、単位時間(小単元)ごとに追究する。</p> <p>【単位時間】</p> <p>【単位時間】</p> <p>【単位時間】</p>
まとめる	<p>3 単元の課題についてまとめる。</p> <p>◇学習の成果を発表する(試す)。 ・演技会や記録会、リーグ戦等 ＜運動領域・体育分野＞ ・グループ発表やレポート紹介等 ＜保健領域・保健分野＞</p> <p>◇学習成果を確認し整理する。</p> <p>◇単元全体を振り返り、習得した技能や知識等を整理し、日常生活や次の単元に生かせることをクラス全体で共通理解する。 ※学級全体</p> <p>◇学習の成果を確認する。</p> <p style="text-align: center;">◇単元全体の振り返り <個人></p>

〈例〉評価の位置付け		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的…態度
<p>◆3観点の評価規準をバランス良く配置する工夫 ◆3観点の評価規準の関連を図る工夫</p>		
【知技】 合理的な実践についての理解	【思判表】 課題発見	【主体態】 健康・安全な態度 学習状況
<p>単位時間</p> <p>各単位時間で重点を置く評価の観点、指導者の授業の「ねらい(指導内容)」によって、変わります。</p>		
【知技】 合理的な実践についての理解 基本的な技能等	【思判表】 選択や工夫 他者に伝える等	【主体態】 公正、協力、等 課題の追求
<p>※評価の観点は、1時間につき1～2程度にするなど、評価するにあたり無理のない計画を立てるようにします。ただし、重点項目以外は評価しないということではなく、必要に応じて随時記録に残しておくことが大切です。</p>		
単位時間		
単位時間		
単位時間		
【知技】 合理的な実践についての理解 基本的な技能等	【思判表】 選択や工夫 他者に伝える等	【主体態】 参画、共生、等 課題の追求
【知技】 総 合理的な実践についての理解 基本的な技能等	【思判表】 総 課題発見 選択や工夫 他者に伝える	【主体態】 総 公学習状況 公正、協力等 課題の追求

「指導に生かす評価」(学習状況を見取る)

単位時間において、生徒一人一人の学習状況を明確にし、生徒の学習改善につなげると同時に、教師は指導の成果や課題を明らかにし、指導改善に生かします。

「指導と評価の一体化」の充実

「評定に用いる評価」
総括的評価…**総**

・目標の実現状況が生徒の反応から顕著に見られる場面を精選します。
・単元の前半に設定する評価については、その結果をもって単元全体の総括的評価とするのではなく、必要に応じて単元終了時まで指導と評価を繰り返すことが大切です。